

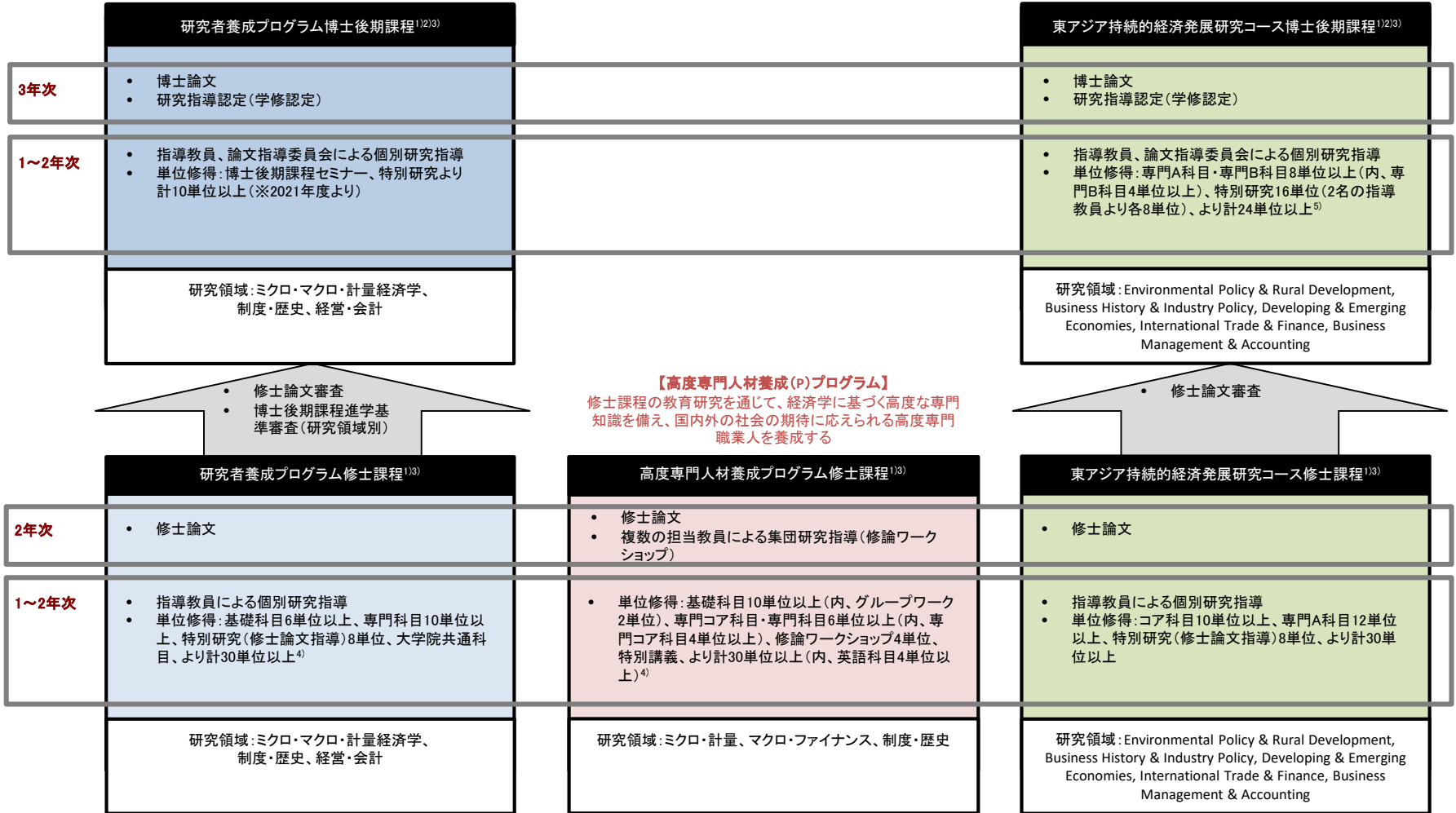
京都大学 大学院経済学研究科カリキュラム、コースツリーマップ

【研究者養成(R)プログラム】

修士課程、博士後期課程の教育研究を通じて、経済・経営における諸活動を科学的に分析し、国内外の社会経済の様々な課題の解決に寄与する研究者を養成する

【東アジア持続的経済発展研究(EA)コース】

修士課程、博士後期課程の教育研究を通じて、経済・経営における諸活動を科学的に分析し、日本や東アジアの社会経済の様々な課題の解決に寄与する研究者、高度専門職業人を養成する(英語を共通言語とする秋入学プログラム)



【高度専門人材養成(P)プログラム】

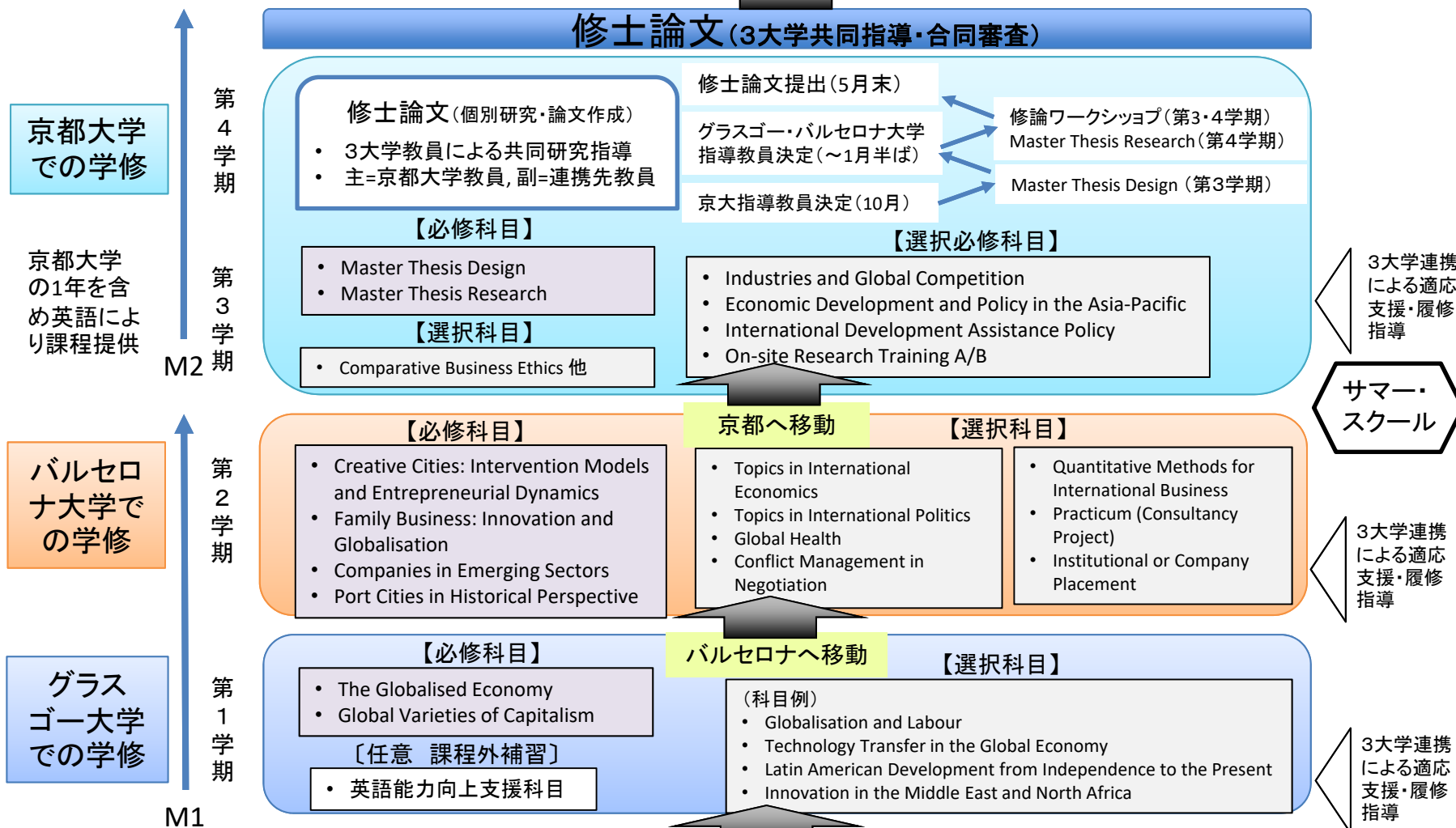
修士課程の教育研究を通じて、経済学に基づく高度な専門知識を備え、国内外の社会の期待に応えられる高度専門職業人を養成する

注: 1. 本資料は2019年4月以降入学者を対象としたものである。それ以前の入学者を対象としたものとは異なる点がある。3つのプログラム/コースの基礎・コア科目、専門・専門コア・専門A/B科目は、原則として、各々異なる授業科目が提供されるが、(一部の科目を除き)相互に履修・単位修得することは可能である。
 2. グラスゴー大学との博士課程国際共同学位(ダブル・ディグリー)プログラムにより、双方の大学での各2年間の研究と博士論文の執筆により、4年間で両大学の博士号を取得することができる。
 3. 所定の要件(指定単位数以上の英語科目単位の修得等)を満たすことにより「スーパーグローバルコース修了認定」のサートIFICATEを取得できる。
 4. 特別選抜・短修制度(学士・修士5年プログラム)生は学部4年次より修士課程科目の単位を修得することができる。
 5. 東アジア持続的経済発展研究コースの博士後期課程の修了のための単位修得要件については2021年10月より変更することを予定している。

修士(グローバル経済・地域創造)/ International Master

日欧3大学によるジョイント・ディグリー

- 社会的責任と研究倫理
- 歴史的素養と経済学的知識
- 批判的で分析的な思考
- 学術的・実践的英語力
- 国際性とリーダーシップ
- 修士論文の学術性



3大学連携による適応支援・履修指導

サマー・スクール

3大学連携による適応支援・履修指導

3大学連携による適応支援・履修指導

入学者には、社会科学的基础学力や歴史への関心、分析的・批判的思考力とともに、社会や組織が直面する問題に対してリーダーシップを持って取り組む意欲が求められる。英語によりカリキュラムを提供する国際ジョイント・ディグリープログラムであり、英語の運用能力も求められる。